

2026 年 9 月 3 日

令和 8 年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究発表会【横浜会場】

林 但

1. 日時;9 月 2 日(水) 13:30~16:00
2. 会場;横浜市役所1階 アトリウム
3. 主催;神奈川県社会教育委員連絡協議会
4. 参加;市町村社会教育委員 & 事務局 120 余名 横須賀市(小林・河井・高橋・松山・入部・林・事務局草間)
5. 内容 県内輪番制で行われている研究発表大会である、今年度 1 回目は横浜市

(1)開会式 & 挨拶

(2)人権講話 横浜市社会教育委員:青山学院大学コミュニティ人間科学部:野口武悟教授

- ・今までにない講話でびっくり、「読書から誰一人残さない社会を目指して」がテーマであった。
- ・教授は現在、横浜市・小田原市で社会教育委員を担当、過去相模原での実践の中からの事例紹介であった。導入部分で R5 年度世論調査から **16 歳以上で 62.6%は本を読んでいない**に愕然！ 聞き入る！
- ・推進のポイント、多様なニーズへの配慮の事例、館内での案内の事例であった。社会教育委員にできることは、**①現状を知ること ②自分事として考える ③活かすこと ④伝え広める事**と締めくられた。

(3)**パネルディスカッション** : デモレーター:大正大学地域創生学部 牧野篤教授 パネリスト:P1:こども未来サポートオフィス代表 米田佐知子氏 P2:榊有隣堂執行役員 渡辺恭氏 P3:神奈川大学人間科学部教授 斎藤ゆか氏 P4:認定 NPO 法人森ノオト理事長 北原まどか氏 P5:横浜市立東山田中学校校長 小林祐樹氏である。**「まち全体を学びの場にするには」**がテーマである。心に残ったキーワードは以下であります。

P1:ワクワクしながら学び、**社会丸ごと考える**

P2:ここ 30 年で本の売れ行きは約 75%減少、**知的好奇心**

P3:街の中がキャンパス、**期間を区切ってやりたいことをやる**。声はかけるが口出しはしない。

P4:**市民ライターの養成** 個々人の自立・自律？

P5:**学びも変化、学校の役割も変化** 学校の中にコミセンもある、学校運営協議会も変わる。

*デモレーターの進行のもと決められた時間内に終わり、満足度の高い研究発表会であった。

6. 感じたこと・気づいたこと

- (1) 気づき・学びが多く有意義な研究発表会であった。
- (2) 他の関係で新しい横浜市役所には何回か伺っているが、今回の会場ははじめて。
- (3) 大会の配布は次第のみ、人権講話やパネルディスカッションの資料がなく必死でメモと写真で対応と苦慮。事前準備も大変であるが改善していただくとありがたい。



開会 15 分前の会場(花博紹介)



パネルディスカッション



東山田中学校の事例紹介